

## 令和7年度 第4回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和7年11月19日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表、有識者…計3名

市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…2名

運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計2名

《議 題》

### 1. 報告事項

- (1) 入居者、職員の異動について
- (2) 前回会議以降の活動状況について

### 2. 行政等からの情報提供

### 3. その他

## ■挨拶

「運営」： 本日はお寒い中お集まりいただきありがとうございます。インフルエンザが流行していますがどうかお体に気をつけてください。本日は第4回運営推進会議という事で忌憚のないご意見をいただき、施設運営に反映していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## ■会議概要

※文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

### 1. 報告事項

#### (1) 入居者、職員の異動について

##### ○入居者

- ・入退居はなし。
- ・申込者数は20名、内判定会議通過済みの方は3名。
- ・現入居者様の全体平均介護度は2.88。平均年齢は89.9歳、平均入居期間は56ヵ月。

##### ○職員

- ・職員の異動はなし。
- ・短時間バイトの利用状況については、月2回程度。

## （2）前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
10月17日	防災訓練 消防機器点検	入居者 17名 職員 7名	入居者も参加する形の避難訓練・報知器の操作方法確認・消火器訓練を実施。
10月22日	敬老会 (フロア別)	入居者 18名 職員 11名	昼食にお祝い膳のお弁当を用意。午後からはゲームを企画。

### ○火災予防スタートアップ講習について（武蔵野消防署主催）

9月26日に武蔵野商工会館にて開催され、職員1名参加。「みんなで知っておきたい防火管理の入門編」というテーマで、講習を受けた。

### ○第三者評価 フィードバック

9月30日に調査結果のフィードバックを受け、今年度の調査が終了。

### ○感染症関連事項

- ・10月20日にインフルエンザ予防接種、11月17日に新型コロナワクチン接種を、小森病院訪問診療と併せて実施していただいた。
- ・10月下旬より、職員のインフルエンザA型感染が続いている。それぞれ感染時期は別で、施設内での感染拡大ではない模様。現時点で合計3名。

### ○第3回市内グループホーム連絡会について

11月13日開催。感染症対策や人材確保、協力医療機関との連携状況について情報共有を行った。

### ○第五小学校 生活科「町たんけん」受け入れについて

11月26日受け入れ予定であったが、小学校内でもインフルエンザが流行しているとの事で、12月3日に延期となった。

#### 【質疑応答・意見交換】

「運営」：入退居者がいない点では安定しているが、待機者が長期間入居できないという状況が続いている。現状3名の方が入居判定会議を通過しているが、待機が長期化することで体調が変化する可能性が高い。実際に空室ができた際に、入居できないことも想定される。

職員については充足に近い形になっている。経営的には、人員配置を厚くすればするほど人件費が増えていく一方、既に入居定員に達しているため収入はこれ以上の伸びが期待できないというジレンマもある。

「委員」：運営方針として現状の施設生活を安全に送ることができる人員体制を維持する方針か。より充実させる方向を目指すのか。

「運営」：理想としてはもう一人採用を考えたい。そうすれば管理者が管理者業務にある程度専念する事ができる。また、本来は1階・2階各フロアにリーダー層の職員を二人配置したい。

「委員」：現在常勤は3名いるのか。

「運営」：施設長を除けば、1階に2名、2階に1名の計3名であるという事になる。過去の1階・2階ともに各一人という時期よりは改善されたと考えている。

「委員」：市内GH連絡会でいろいろな意見が出たと思われる。市内の病院閉鎖の話も聞くが、GH連絡会で病院との医療連携についてどのような意見があったか。

「運営」：令和5年度の介護報酬改定時に協力医療機関連携加算が新設され、市内GHの3か所ともに加算を取得しているとの事であった。GH連絡会で出た意見としては、夜間帯の特変時の連携に苦慮しているとのお話があった。現状、光風荘では夜間帯に特変が起こることは少ない。そういう事態が生まれた時は協力医療機関に連絡して指示を仰ぐ形になる。

「委員」：光風荘の協力医療機関は病床を持っているが、病床がない医院を協力医療機関と定めている施設では、状況も違ってくると思われる。

「市等」：夜勤帯の職員体制と緊急時の体制についてはどうか。

「委員」：つい先日の明け方に転倒事故があり、救急対応を行った。普段から現場職員には、判断に悩む状況であればまずは常勤に連絡を取ってほしいと伝えている。今回は現場職員から施設長に連絡があり、指示を行った。

救急要請が必要な場合は、原則施設長や常勤が救急車に同乗する事としている。ご家族様には、搬送先で合流していただく事が多い。

「市等」：職員を充足することができた要因は何か。

「運営」：待遇は他のGHと比較して特段良いという訳ではないと思われる。9月に開催された福祉の仕事フェアにブースを出した事が関係していると考えている。当日面接した方は採用に繋がらなかつたものの、求人を見てフェアには行けないが興味を持っていただいた方から応募があり、採用に繋がった。光風荘を知っていただく機会として大きかったと思う。また、現在の職員の伝手で採用に繋がったケースもあった。

「市等」：職員が定着している事は安心につながると思う。

「運営」：入職時の研修も早番・日勤・遅番・夜勤の研修は各6回行っているが、不安があれば研修の回数を増やすようにしている。

「運営」：介護人材は募集しても集まりにくい。理由はいろいろあるとは思うが、最終的には人間関係に尽きる。光風荘の職員の定着には施設長の人柄という面が大きい。

「運営」：第三者評価で職員アンケートでは、逆に「施設長のリーダーシップが足りない」といった意見もあった。施設長が実質1階の職員として数えられている分、2階職員との関わりが少なく、不平等感を生んでいるのかもしれない。一方で「施設長が多忙」とも評価されていた。もう一人職員を採用して、施設長が両フロアを見る事ができる体制にはしたい。

「運営」：いろいろな意見が出てくる事自体が良い事だと思われる。

「委員」：私は母がお世話になっているが、まだ利用料を値上げして良いと思っている。昨年と比較して物価が上がっている。職員の待遇改善のためにも必要だと思われる。

「運営」：前回の値上げの検討でも苦慮したことは、人件費の確保を目的に、食費や共益費の値上げは

できない点である。人件費の確保は介護報酬に左右される。市内 GH 連絡会にて、武藏野市から物価高騰対策支援の補助金の用意が進んでいるとのお話があり、非常に有難い。

「運営」：現状光風荘では、職員 4 交代制で運営している。職員 3 交代制の GH が増えてきているとのお話を聞いた事があるが 1 日をどう組み立てていくのか全く想像ができない。職員の急な欠勤等によって 3 交代で対応する日は時折あるが、サービスの質の低下と職員の疲弊を招くためで起きるだけ避けたいと考えている。

## 2. 行政等からの情報提供について

「市等」：市内 GH 連絡会でも既にご説明しているが、物価高騰対策に関する支援事業の準備を進めている。また、市役所としても運営推進会議等への参加を通じて、介護保険計画策定を進めていきたいと考えている。また、11 月 29 日にスイングホールにてケアリンピックを開催するのでご来場いただければと考えている。

## 3. その他

- ・次回の運営推進会議は 1 月 21 日（水）18 時を予定している。